

平成29年度「学校評価（7月）」まとめ

◆あたたかな言葉をつかう子

内 容		評価(%)	
児童	はっきりと、自分から、目を見て、あいさつができた。	 95.1	
保護者	お子さんは、進んであいさつができた。		87.8
教職員	児童は、はっきりと自分から目を見てあいさつができています。		100
児童	自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えた。	 97.6	
保護者	お子さんは、自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えた。		75.6
教職員	児童は、自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えた。		100

【成果と課題及び2学期以降の取組】

あいさつカードを使った7月の自己評価からは、特に校外でのあいさつに対する子供たちの意識が高くなったといえる。また、PTAスローガン「勇気を出して 大きな声で あいさつ」を意識し、保護者や地域の方々が子供たちに働き掛けてくださる成果と言える。2学期以降も家庭や地域と連携した取り組みを継続していきたい。

○「朝起きてから家の人にあいさつした」 88.6%（5月）→**92.7%（7月）**

○「登校中、地域の人にあいさつした」 90.2%（5月）→**97.6%（7月）**

◆めあてに向かってまなぶ子

内 容		評価(%)	
児童	聞いて考える（賛成、反対、付けたし、質問）ことができた。	 92.7	
保護者	お子さんは、人の話を聞いて考えることができた。		85.4
教職員	児童は、聞いて考えることができた。		33.3
児童	自分の考えがノートに書けた。	 95.1	
保護者	お子さんは、自分の考えがノートに書けた。		78.0
教職員	児童は、自分の考えがノートに書けた。		50.0
児童	家庭学習を学年×10+10分行った。	 95.1	
保護者	お子さんは、家庭学習を学年×10+10分行った。		56.1
教職員	児童は、家庭学習を学年×10+10分行った。		100
児童	年間目標読書量を達成することができた。	 63.4	
保護者	お子さんは、進んで読書をしていた。		61.0
教職員	児童は進んで読書をしていた。		100

【成果と課題及び2学期以降の取組】

家庭学習は習慣化しており、取組への意識は高いといえるが、「学年×10+10分という目安について、保護者評価が、特に1～4年生で低くなっていること」が課題として挙げられる。（1～4年…50.0%、5・6年…69.2%）その理由として、放課後子供教室で家庭学習を行っているために、家庭での学習時間が短くなっていることが考えられる。そのため、今後は宿題だけでなく、自主学習にも取り組むように奨励していく。同時に、読書量を増やしていくため、特に週末の家庭学習に読書を取り入れるよう働き掛けていく。

「聞いて考える」については、授業における教師の言葉掛けを工夫する等の手立てにより、向上を図っていく。

◆心も体もたくましい子

内 容		評価(%)
児童	めあてに向かって運動をがんばることができた。	92.7
保護者	お子さんは、進んで運動したり、外で遊んだりすることができた。	90.2
教職員	めあてに向かって運動をがんばることができた。	100
児童	起きたり寝たりする時刻を守ることができた。	85.4
保護者	お子さんは、起床就寝時刻を守ることができた。	85.4
教職員	児童は、起床就寝時刻を守ることができた。	100
児童	好き嫌いなく食事ができた。	92.7
保護者	お子さんは、好き嫌いなく食事ができた。	87.8
教職員	児童は、好き嫌いなく食事ができた。	100



【成果と課題及び2学期以降の取組】

高学年では、水泳課外において、自分の目標を設定して取り組むことができたことが達成感につながっているといえる。2学期以降も、目標に向かって練習意欲を高めることができるよう、学習カードの活用などにより、目標をもって取り組むことができるよう指導していきたい。

◆その他（森町共通評価項目）

内 容		評価(%)
児童	授業の内容がよくわかる。	92.7
児童	進んで先生に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	95.1
児童	学校に相談できる人がいる。	82.9
児童	私たちの学級（学校）は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある	87.8
児童	学校が楽しい。	92.7
保護者	先生は、子どものことを理解して指導にあたっている。	100
保護者	学校で目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。	96.3